

人権視察研修 豊後大野市

11月1日八幡人権教育推進協議会は豊後大野市でフィールドワーク形式の研修を行いました。



▲地区内の通常の神社の祭りには「むら」の人々は参加できないことから、「むら」の住人の強い思いで天満社を造営し参拝するようになった。

落は「むら」と呼ばれていました。フィールドワークでは、主に神社、墓石、児童館等を回り、部落差別とそれに対する「むら」人の抵抗の姿などを見ることができました。

豊後大野市の部落差別の歴史は、18世紀の中頃（江戸時代中期）に「むら」ができたときからです。

江戸時代の岡藩の都合によって、差別社会が形成・助長されたようです。

長尾嘉泰さん 自治委員功勞で受賞

本村の長尾嘉泰さん（現自治組織運営協議会副会長）が、このほど全国表彰を受賞。

自治委員を長年勤めてこられたことによるもので、大阪市で表彰式典がありそこで受賞しました。



長年のご労苦に感謝するとともに、今後ますます健康に貢献していただけるよう期待いたします。

秋祭りの会場では祭典の後、開会式典に続きイベントが開催されました。中塚シスターズによるスコープ三味線、もみじ会による大正琴演奏、古後小学生の「神楽」があり訪れた人を楽しませていました。



かまどヶ岩 秋祭り ウォーキング大会

11月5日の好天に恵まれて「かまどヶ岩秋祭り」に合わせて、八幡健康協、健康福祉部会共催でかまどヶ岩への往復のウォーキング大会が開催されました。秋のさわやかな青空の下、ウォーキングでき、かまどヶ岩では、豚汁、弁当といただきました。

身障者 ふれあい スポーツ大会

11月17日ふれあいスポーツ大会がB&Gで開催。この大会は、障害者と健常者がスポーツを通じてお互いの理解を深めることや、ノーマライゼーション（「当たり前」のことに当たり前の社会環境を整備してこの社会という考え方の啓発を目指すものです。当たり前前の社会とは、スロープの設置など、障害者が普通の生活を送れる環境整備をし、共に協力しながら生活していくことを目指しています。



フライングディスクを投げ5メートル先のゲートをくぐらせる競技

競技は障害者に配慮した内容で、その日は一日障害者と健常者のふれあいを確かめることができました。



▲座ったままでも体がぼかぼかしてくる3B体操 次回は12月15日です

11月17日 6回目のハツラツ健康教室3B体操がありました。3B体操は、動きたくない、けど運動しなきゃ...と思ってる人にぴったりの体操です。

3B体操